

## 元茨木市立中津保育所三者協議会（第16回）会議録

### 1 日 時

平成30年7月7日（土） 午前9時から

### 2 場 所

てんのう中津保育園

### 3 案件

- (1) 工事の進捗状況等について
- (2) その他

### 4 出席者

- ・ てんのう中津保育園保護者  
会長 他15人
- ・ 社会福祉法人  
理事長 他1名
- ・ 保育幼稚園総務課  
山寄課長、中路課長代理、古川係長、村田保育指導主事

### 5 発言要旨

（市） 皆さん、おはようございます。

今日は、公私何かとお忙しい中、三者協議会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

それでは、これより第16回元茨木市立中津保育所の三者協議会を開催いたします。

議事につきましては、三者協議会の議長であります保育幼稚園総務課長の山寄が進行いたします。

（市） 皆様、おはようございます。

議事の進行に先立ちまして、私もこういう服装で、実は今、どういふ状況が起こっているかといいますと、地震の後の雨、この長い雨で土砂災害の危険性があると。洪水警報はもう解除されたのです

けれども、まだ土砂災害の可能性があるので、A号配備ということで、課長級以上は全員泊りですとこういう状態でおります。

このたびの震災で、今現状、どういう状況かといいますと、避難所は、地震関係ではまだ18カ所の避難所があいています。そこで過ごされている方196人、まだそういう状態です。まだまだ屋根とかにブルーシートがあり、これがきちんととれた状態、皆さん安心してもらった時点で地震の対応というのは収束してくるのかなど。気象庁は、まだまだ、もう収束ですとまでは言えないそうです。1週間、1カ月等々、まだまだ予断を許さない状態なので、私ども一生懸命そういったときにも対応させていただくようにしております。

皆さんのお子さん方、よく耳にされているPTSDとかそういったこと気になるところだと思います。こちらについては、地震当初は、例えば寝つかれないとか、お子さんにまわりつかれるよとか、ちょっと興奮状態になるとか、そういう行動が見られるんですけども、そういった状況は受けとめていただいて、お子さんが安心されるまでしっかりと抱きしめてあげるとか、そういうことで全然問題ないと。本当のPTSDというのはどういう状態になるかといいますと、例えば全壊でお家をなくされたりとか、肉親の方を震災で亡くしたりとか、そういう大きなものを失ったとき、こういったときにPTSDが起り得るということを聞いております。かえって地震が起こっていても何も変わらないよというお子さんのほうが実は後々あらわれるということもありますので、私どもの心理士が巡回させていただいております。先生方にご相談いただいたりとか、私どもに相談いただいたらすぐにそういったことにつなげたりとか、そういった体制をきちんと組んでおりますので、どうぞよろしく願いいたします。

では以降、着座にて進めさせていただきます。

それでは早速でございますが、会議次第に従って進めさせていただきます。

まず、案件の1つ目、「工事の進捗状況等について」についてでございます。工事の進捗状況につきまして、法人様からご説明いただけるということですので、よろしく願いいたします。

(法人) おはようございます。

私からは、前回4月の三者協議会以降の子供たちの園での様子について、活動内容について先にお話させていただきたいと思ってお

ります。

例年より少し早目とはなりましたが、5月に5歳児たいよう組がこの園舎を使ってのお泊り保育をとということで、5月に少し前倒しさせていただいて実施いたしました。保護者の方や、また近隣の山水温泉さんのご協力もいただいて子供たちには思い出づくりができたかなと思っております。

それと、また6月16日、さよなら園舎の会をさせていただきまして、卒園児であったり、中津保育所、公立保育所時代の先生方にもお越しいただきまして、300人を超える皆様に集まっておりました。懐かしのひと時をともに過ごさせていただけたかなということで、本当に集まってくださった皆様、そしてお声をかけて子供たちを集めてくださった方に本当に感謝申し上げます。

それから、夏遊びについてなんですけれども、6月の後半より、末広認定こども園で、にじ、そら、たいよう組の子供たちが、末広認定こども園さんがこちらなんです、泥んこ遊びをさせていただきました。子供たち同士の交流もなんですけれども、子供たち本当によそにお邪魔して遠慮とかそういった気持ち的な気おくれもなく、本当に伸び伸びと遊ばせていただいたのでありがたかったなというふうに思っております。

シャワーについては、今までと変わらず、汗をかいた日はシャワーを浴びています。

今後のプール活動についてなんですけれども、まだ伺っていないんですけれども、ひだまり保育園さんのほうに行かせていただくときには、歩いて子供たちを連れていこうと思っております。屋上にこういった簡易プールを出されておまして、こちらのほうで子供たちが夏のプール活動ということでさせていただきます。濡れた水着等で子供たちが帰りには荷物の負担はならないようにカートとかを用いて、荷物のほうは職員で配慮させていただきたいなというふうに思っております。

それから、東雲幼稚園と五十鈴のプールですけれども、東雲幼稚園のほうは、幼稚園さんが夏休みの期間中に利用させていただこうと思っております。子供たちの様子、基本的には歩いて、普段利用している公園の距離とさほど変わりませんので、歩いていく予定しておりますが暑い時期ですので、子供たちの体調を見ながらバスの利用というのも考えていきたいなと思っております。日程につきましては、今もう6月、7月のプール活動であったり、それから夏遊

びであったりという日程表を各クラス前に張らせていただいているんですけれども、今後についても同じように7月、8月分もクラス前の表示にてお知らせさせていただきたいと思いますので、またごらんになっていただけたらと思います。

それと、先日は、たいよう組の子供たちが茨木市の泉原にあります里山センターのほうに参りました。これは新園舎に向けて子供たちが何か残るものをとということで、卒園記念製作も兼ねて木工製作のほうをしております。一度きりで何か完成ということではなくて、何度か足を運んで製作のほうはして仕上げたいなということで思っております。子供たちにも、またお家の方にもでき上がるまでないしょねって担任のほうも言っているようですので、まだ何ができるかはちょっとお楽しみにしていただけたらと思います。

5歳児が6月後半にプラネタリウム見学も予定していたんですけれども、地震の影響で投影機のほうに不具合が生じたということで、前日連絡をいただきました。現在も延期の状況ですが、当面復旧の見通しも立っておらず、他市の利用も現在のところ検討しております。このまま茨木市での利用がちょっと難しいなとなりそうならば、8月あたりに他市でのプラネタリウムというのも実施していきたいなというふうに考えております。プラネタリウムが延期になったということもありましたので、天王福祉会から農園での大根の収穫を子供たちにさせてみてはどうかなということでお声かけいただきましたので、そちらのほうも子供たちを連れて大根の収穫を行いました。場所としましては、先ほどの里山センターとほぼ近いあたりにあるんですが、大根の後、そのまま忍頂寺にありますスポーツ公園のほうに行って遊んで帰ってきております。

乳児クラスですが、シャワーは続けておりますけれども、ビニールプールを使つての水遊びを2階のテラスで楽しんでおります。これから、先ほども見ていただきました外部の施設のプールをお借りしてのプール遊びが始まりますので、行き帰りの安全面であったり、子供たちの体調面についてはしっかりと把握して、子供たちとこの夏元気に過ごしていけたらなと思っております。

(法 人) 今日、設計の方で大和リース、三田工務店さんのほうに来ていただいておりますので、今現在の工事の進捗状況を踏まえて、お願いしたいと思います。

(法 人) 大和リースの木村と申します。よろしくお願ひいたします。  
仮設園舎の工事のほうにつきましては、今現在、内部の仕上げの

ほうを取りかかっております。外観のほうにつきましては、ほぼほぼでき上がっております、今、床材であったりとか、設備の器具取り付けを行っております。

このたび、先月起きました地震の影響と大雨の影響で交通機関が非常に麻痺している中で、職人さんにもいろいろ数多く来ていただくような形をしまして、何とか工事のほうは間に合わせたいと考えております。ただ、今後の天候の状況であったりとか、そういうことによりましては、またご相談のことがあるかと思えます。私どもも仮設園舎を完成させてお子さま方に使っていただけるように、これからも工事につきましては、7月の中旬をめどにいろいろ進めていきたいと思えます。

また、工事期間中につきましては、皆様方のお母様方の送迎のときに非常に、工事車両があったりとかで、非常にご迷惑かけるところがあります。ただ、皆様のご協力があったのもと、我々も仮設園舎の工事を進めていくことができました。この場をおかりしまして、皆様に感謝をお伝えできればと思えます。本当にありがとうございます。これからあと2週間ほどですけれども、また、皆様のご協力をいただいた上で工事を進めていきたいと思っております。

以上です。

(法 人) ありがとうございます。一応、6月末で工事の方には周知をさせてもらったんですけども、それが伸びているということは、震災の影響もあると。それに伴って7月にちょっとずれましたので、保育園としては、一応3月にはもう園舎を使いたいということですので。では、三田工務店さんのほうでちょっと。

(法 人) このたびこちらのほうの新園舎の工事にかからせていただきます三田工務店栗田と申します。よろしく願います。

先ほどもちょっとお話ありましたけども、震災等、大雨の影響で若干工事がずれ込んでおまして、仮設園舎が完了次第、先、校舎の解体撤去のほうをかからせていただきます。一応予定としましては、7月23日あたりから準備期間を設けまして、そちらから随時工事を、着工していく予定としております。

工事の進捗状況にもよりますけども、一応3月末めどを目指して頑張っていくつもりでございますけども、若干、1カ月程度工事がずれ込んでおりますので、その辺ちょっと不明な部分もありますけども、一応努力して3月末にはお引っ越しできるように努力していきたいと思っておりますので、皆様、ご協力をよろしく願います。

します。

以上です。

(市) ありがとうございます。ただいまの説明について、何かご質問等ございませんでしょうか。

(保護者) 地震の前から多少ちょっとおくれできている話があったと思うんですね。その時点ではどれぐらいのおくれだったんですが。そのときの予想としては。

(法人) 7月の上旬にはできる、完全引っ越しという予定でしたが。

(保護者) プラスこの地震と大雨の影響というところで。

(法人) すみません。ちょっとずれ込みが生じてきております。

(保護者) 一般論で結構ですけども、私たちわからないので、そういう事情というか、業界のことは全くわからないんですけど、1カ月ずれるというのを普通に人員だけを増やすということをして、補えるというか、そういうのではないですよ。

(法人) いや、それだけじゃ多分無理だと思いますので。一応、今、日祝、作業は一応しないという取り決めになっていると思うんですけども、音の出ない作業とか軽作業の場合は、ちょっともう日曜日、祝日も返上して作業させていただかないと厳しいかと思います。

(保護者) そういう意味では、ちょっとかなりタイトで、ちょっとまだ何とも言えないんですよ。

(法人) タイトな工程にはなっております。

(保護者) 今の時点で1カ月ずれているので、これが挽回できればいいですけど、ちょっとずつ詰めていっても、でもやっぱり天候とかいろいろな事情があると思うので、まだ実際始まってないので。

(法人) そうですね。始まってないので何とも言えないです。

(保護者) 始まってないので、今始まってない状態で1カ月ずれているということなので、じゃあ、始まってからまたずれるかもしれないですし、何ともその辺は言いがたいという感はありますよね。

(法人) そうですね。不明な部分が多いので、明言はちょっとできない。

(保護者) できないんですね。一応、目標は目標ということで。

(法人) はい。3月目標で頑張りますので。

(法人) 引っ越しは、もう3月中旬にはしたいということで。

(保護者) 最後、もう時間ないのでって言って、雑な感じになったりとかするのが余りよくないですね。

(法人) 危ないのでね。

(保護者) 危ないことだとは思いますが。

- (法 人) そうも言ってもらえない部分も出てくるとは思います。
- (保護者) 商業施設とかだと、そういうので最後まですごく追い込んでいて、もういろいろな事情があるので、そんなのでEXPOシティが大分頑張んなきゃいけなくて、で、今そのつけが回ってるというふうに言われて、ちょっとEXPOシティにひび入ってるというの聞いたんですよ。
- (法 人) そうですね。
- (保護者) だから、それは商業施設ならではのいろいろな事情があると思うんですけど、もうね、保育園の場合はやっぱり安全第一にしていけないといけないと思うので、大きなお金を使っているんだろうと思うんですけど。じゃあ、何とも言えないですけどっていうことしか言えないですよ。
- (法 人) 今は、はい。申し訳ないです。
- (保護者) 工事のときに、朝送り迎への自転車の置き場が一時期あふれているときに、こっち側に止めているんですけど、木の葉がすごく生い茂ってて、きっとそれが邪魔なので切っただけいたらありがたいです。
- (法 人) あれは茨木市のものですね。
- (保護者) そう、茨木市ですかね。
- (法 人) そうなんです。公園課の方がいつも来てくださって。
- (市) 担当課に言っておきます。
- (保護者) ちょっとあれを避けてっていうのも、虫とかついていたら嫌なので。どうしても狭いので。
- (法 人) 今度は、こちらじゃなくて仮園舎側に沿って止めていただくことにはなりますので。行事とかもありますのでね。早々に対応します。
- (保護者) よろしくお願いします。
- (法 人) あと何か気になることありますか。
- (保護者) すみません。具体的な引っ越しの日程というのは。
- (法 人) 一応22日の日曜日ですかね。夕涼み会が終わった次の日を予定しています。それまでに少しでも持っていけるものは持っていこうと思うんですけども。
- (保護者) 引っ越しが22日になるっていうのは、また掲示とかはされるんですか。
- (法 人) 今日保護者会でお話しいただいて、皆さんにお知らせさせていただこうかと思っています。
- (保護者) 引っ越し自体は1日でできるものですか。

- (法 人) いや、検査が終わったら少しずつ荷物を持っていけるということ  
を聞いてますので。でもやっぱり保育もやっているので、あまり子  
供たちに係るものはそんなに持っていけないと思うんですけど、ち  
よとずつは持って行くようにします。
- (保護者) じゃあ、今、仮の園舎での保育のスタートっていうのは。
- (法 人) 23日の月曜日です。
- (保護者) 少しずつみたいな感じですか。
- (法 人) いや、もう23日はもう向こうに、全部移設します。
- (保護者) 先生皆さんでされるのですか。
- (法 人) 職員がみんな引っ越し屋さんになります。
- (保護者) 夕涼み会はどうなったのですか。
- (法 人) 夕涼みのことは、ちょっとお話させてもらったんですけど、夕涼  
み会の日が一応最後の園舎となりますので、本当に最後の思い出も  
壁にも窓にも何を書いてもつぶされるので、最後思い出として何か  
できたらいいなど。
- (法 人) 当初、仮設園舎のほうでの夕涼み会をということですとずっとお話さ  
せてもらっていたんですけども、思っていたよりも少しづれこん  
できたということで、最後の最後にこちらの園舎での夕涼み会とい  
うことで、変更して大変申しわけないですけども、お願いしたい  
と思います。
- (保護者) すみません、保育にかかわることの質問とかでもいいですか。
- (法 人) 大丈夫です。
- (保護者) 泥んこ遊びとかプールとかっていうことですけど、みんな、多分  
皆さん一番気になっているのはこの夏場、それのことだと思うん  
ですけど、例年に比べたらやっぱりかなり少なくなっていると思うん  
ですけど。プールにしても、今までが、週3回ぐらいできたりとか、  
多いとき4回できたりするところを、今の感じだと多分週1か2ぐ  
らいになる感じですかね。カレンダーを見ている感じでは多くて週  
2ぐらいなのかなっていうような感じがしていて、いろいろな場所  
もお借りしたりもしますが、それはそちらのほうにももちろん園  
児さんいらっしゃるし、距離的なこともありますし、炎天下のなか  
橋越えて向こう側まで行ってってわかるんですけど、それもね、や  
ってみたいとわからないこともあるんでしょうけど、でもやっぱり  
三十何度のところで、プール終わった後また歩いて帰ってくるとか  
っていうのもしんどいかなっていうふうになったら、もしかした  
らもっと回数も減るかなとか、そういうふうなところも考えられ



るのかなと思うと、やっぱり残念ながら今年はもうプールは余り期待はできないというふうに思うしかないのかなというふうに思いますけど、どうなんですかね。

(法人) そうですね。例年のように、お天気が良かったら毎日プールっていうのが厳しくはなっていると思います。ただ、今お知らせさせていただいたプール以外にも、本園の天王こども園、これもバスを利用しないことには行けないところです。プラス今まだ本当交渉中ですけども、うちの法人の中の一つの南茨木スイミングプールの温水プールの利用のほうもちょっと依頼していて、子供たちに1回でも多くプール活動ができるようにということで、はっきりとした日程というのがまだ出てきてはないんですけども、今まだちょっと交渉させていただいています。天王こども園のほうももうプール遊び、子供たちのほうも始まっておりますので、可能なときは来てくれていいですということでは行ってもらってんですけども、先生たちにしてもプール遊びだけではなくて、夏の遊びとしていろいろなことを経験させたいという思いもあるので、それプラス体を鍛えるという部分では、今年はホールを使ってのリズム運動も強化してくれていますので、そういった部分では子供の体力づくり、運動会に向けての体力づくりという部分ではいい方向に進んでるんじゃないかなというふうには思っています。

(保護者) プールが、もう例えば例年の半分以下ぐらいになるというのは、ある程度想定している部分も多分あると思うんですね。それを補うのであれば、やっぱりそこは体を動かすというところが欲しいというふうに思うところなので、なんかこうやっぱり部屋にいていろいろなこと、それはそれで保育は大切でいろいろなカリキュラムもあると思うんですけど、やっぱり体力的なところをつてなったときに、仮の園舎でどんなことが体力づくりというのができるのかっていうと、やっぱり限界もあるのかなと。やっぱり普通に考えてホールか外かプールかっていうのがやっぱり、それで外遊びというか体を使ってというふうに思うので、室内でできるもので体力づくりということをもし本当に考えられるようであれば、もともとの保育の内容を余り変えないようにしていきたいねという思いはみんなあると思うので、そこをもうちょっと具体的に考えてもらったほうがいいのかと思う。プールはもう仕方ないねっていう声はもういろいろなところで上がってると思うんですね、回数としては。もう残念だけどって言って。だったらそこは、仮のというか代替案として具体的

にこういう感じで体力づくりというのを、やっぱりカリキュラムをちょっと変えてまで、例年とはちょっと違った形でやっぱりしてもらったほうがいいのかと思うので、もしそういう感じで考えていただければお知らせいただければなど。そのとき、決まったときにお知らせいただければなどと思います。

(保護者) 保育の内容のところで、プールに行くときに歩いていくというのは、ビーチサンダル履いて行くんですか。

(法 人) 違います。

(保護者) 普通の靴。

(法 人) はい。

(保護者) それならいいんですけど。保護者の中で疑問があって、ビーチサンダルで歩いていくのかな、どうなんやろうっていう疑問。

(法 人) ちょっとビーチサンダルは歩きなれてないので、安全面で通常の靴と靴下ですね。

(保護者) 先ほどの東雲幼稚園なんかって、やっぱり坂道上るし、川越えることになりますし、歩道のあるところ行っても狭いので、結構自転車が行ったり来たりするような道なので、ちょっとその辺が不安かなという気もするんですけど。

(法 人) そうですね。ジオ公園まではよく行って、そこからまだ5分弱、子供の足だと5分あるかなというところなので、安全面については配置職員も通常のお散歩コースよりは増やして、気をつけていきたいと思っています。

(保護者) 例えば、プール終わった後に車でとかいうような案は、余りないんですか。

(法 人) 今のところ、できれば歩いてというふうには思っています。

(保護者) 行きはいいんですけど、プールが終わった後に歩いて帰ってくるのは、やっぱりしんどいところもあるのかなと。ひだまりさんぐらいであれば別に目と鼻の先だからいいんですけど。川越えて向こう側まで行くと、なかなか真夏、炎天下の中でジオ公園まで歩いて行って遊んで帰ってくるかってなると、それもなかなか厳しいと思うので、その辺は実際蓋あけてみないとわからないところもあると思いますけど。

( 市 ) 工事の進捗やその他保育のことでも何でも結構ですので、ご質問等いただけましたら。

(保護者) 先ほどの保護者会でも話があったんですけど、先日の地震、今回の豪雨、現園舎の罹災の状況とか、あと地震発生した当日、朝にマ

ンションのほうに避難、マンションの前でしたっけ、スペースに避難したとかいろいろお伺いしたんですけども、残り少ないんですけど、現園舎でまた余震等あった際の対策とか、あと仮園舎に移られてからの避難のこととかっていうのは、何か対策考えているのかというのを伺います。

(法 人) 現園舎については、地震の後、各教室見回りをさせていただいて、教室内については大きな被害というのは出ていなくて、配置の家具もほとんど壁に固定されていたりですとか、そういった状況がありましたので、きちんと留めていなかった水槽の水がこぼれていたりですとか、そういった状況でした。ちょっとテラス部分の水、足洗い場の部分が少しコンクリート部分だったため亀裂がっているのが見られるんですけども、園全体としてはそんなに損傷は受けてはなかったというふうに考えています。どなたかに見ていただいたというわけではないんですけども、職員で確認はさせていただきました。

当日の地震が起こった日なんですけれども、時間帯は8時ちょっと前だったということもあって、受け入れの子供たちもまだ少ない状況というのもありまして、たまたま居合わせてくださった保護者の方もそのまま一緒に避難していただきました。そのまま杉山板金さんの前のスペースにてブルーシート等ひいて避難して、直後からお迎え要請のほうもさせてもらって、引き渡しカードにてお昼前には全員引き渡しすることができました。少しお天気もあやしくて、それプラスマンションの方がよかったらうちにどうぞということで、何人かの方が声をかけてくださっていて、雨がちょっとあやしいかなと思いましたので、数人連れてマンションのエントランスのほうに避難させていただきました。トイレのほうもマンションの方にお借りして使わせていただきました。

仮園舎での避難については、現時点では、避難訓練では杉山板金さんのところを利用したりとか、それから日によっては、これは大きい学年の子にはなるんですけども、小学校までの避難経路というのも今年のうち経験するものとして取り組んでたので、それも入れている訓練にはなるかと思えます。仮園舎に移ること等は関係なしで、普段から訓練で子供たちがけがをすることがあってはならないということを言ってますので、無理のない範囲での避難訓練ということで、職員が実際にどれだけ動けるか、子供たちをどう動かすことができるかということをしつかりと考えて訓練はしていきたいと

思っています。

- (法 人) 仮設の園舎につきましては、我々よく軽量鉄骨という名前の構造体になっておりまして、非常に上屋が軽い建物になっています。もし万が一揺れが生じた場合、上屋が軽いので建物自体が倒壊するおそれは少ないという認識でおります。実際のところ、東日本大震災であつたりとか、そもそもこの地震の際も揺れに関しては、一番最後まで残っているのはこのプレハブなんです。ですので、今回上屋が軽い、軽量鉄骨の仮設園舎をお使いいただく形になってきますので、揺れに関しましては、ほかの建物と比べると強いという認識でおります。ただ、完全なものかと言われると、どの建物も100%の安全とか、そういう倒壊のおそれはないとは思いますが、上屋が軽い分、ご安心してお使いいただけるのではないかなと思っております。
- (法 人) 保護者会のほうで話させてもらって、地震が起きたときに、こちらのほうは蛍光灯が落ちたりとか食器棚、すごかったんですけど、プレハブのほうには全然一切何もひびも何もなかったということで、それはお話させてもらいました。
- (法 人) その食器棚は、職員のお部屋はきちんと留めをしてなかったのちょっと倒れてしまったということは起こっていて、ガラスが割れたりということはありません。
- (保護者) 給食室とかそういうのは大丈夫だったのか。
- (法 人) ちょっと大変でした。そういう状況だったのでプレハブも見に行つたんですけど、プレハブは何もなかったのか、物がなかったのはありますけど、特につぶれるようなことはなかったの、身をもって安全性が保証されたん違うかなと思いました。
- (保護者) 大体震度何まで耐えられるか、というんはあるんですか。
- (法 人) そうですね、幾らかまでの数字はわからないんですけども、東日本のときに流されてしまったのはあるんですけど、残っていたというのを聞きますと、ある程度の数字には対応できるのではないかなとは思いますが。すみません、数字までは言えないところがあります。
- (保護者) 新しい園舎のほうは震度幾らまで耐えられますか。
- (法 人) 震度幾らまでというわけではないんですけども、基本的に大きな地震が起きたときも、建物の一部が壊れるようなことがあっても中にいる人に影響がないような構造にはなっております。現在の仮設園舎も新しく建てる園舎も建築基準法上は同じ構造耐力を要求されてますので、全く遜色のない構造体という形にはなっております。

仮設やからちょっと柱細いのと違うかとか、そういう心配は全くございませんのでご安心していただければと思っております。

(保護者) 一応耐震基準は仮設でも新園舎と同じと考えていいか。

(法人) そうです、同じです。新しく建てる新園舎のほうと全く同じ基準で適合しておりますので、その辺は大丈夫な形になっております。

(保護者) すみません。仮園舎で過ごし始めたときに、もし大きな地震や火事があって、そこで電話がつながらなかつたりした場合とか、その道路ならもう目の前なのでそこに避難してるのが見てすぐわかるのでそこに迎えに行くことができるんですけど。杉山板金さんの前とかもスペースがそんなに大きくはないので全園児に職員もつてなかったときに、例えば、大きな地震や大きな火事があって、とにかく避難しなきゃいけないというような状態のときに電話もつながらない、どこに頼れるんだろなど。例えば、もうそこから動きませんという形であればそこに行きますし、どこか近くでそういったスペースを考えてますというのがあれば、何かあったときはそっちに行ったらいるんだなというのがわかるような感じになればいいかなと。

(法人) 今回の震災で電話が全くつながらなかつたんですけど、携帯のラインとかSNSはすごくよかったですよね。

(保護者) それが使えて、今回は多分それで助かったところもあると思うんですよね。

(法人) うちでは、よいこネットのほうで、あれは携帯で操作できて、携帯から保護者の皆さんに一斉配信できるので、その辺をちょっと今回の教訓としたいなど。今回は、ほとんどの方がよいこネットに登録いただいていたことで、携帯から発信ができたので、活用できました。

(保護者) 園の前のこの道路のところとか、杉山板金のところとかでは、そこがもう無理だつてなった場合、そこにいられないとなつたときに、じゃあ次はここについていうのをある程度想定してもらつていて、例えばそれを事前に私たちに知らせてもらつてれば。例えばですけど、マンションの裏のイオンの駐車場かわからないですけど、ある程度のスペースがないと多分避難はできないと思うので、ましてや兄弟がいてたら学年ごとに違うつていうのも、それも困るし、やっぱり不便だし。なので、万が一、何もつながらないつていうようなときに、ここつ場所がある程度、あらかじめ決まつたら、仮に万が一、電話持つてない、電話つながらない、こっちも電話持つていればいいですけど、何かあつたときに電話持つてなかつたりとか、

落としたりとか、そういうようなこともあるかもしれないので、そういうのをあらかじめ伝えといてもらったら、そしたらここにいなかったらあそこなんだっていうのがわかれば、全然連絡がとれないような状態でも不安なくお迎えに向かえるかなって。うまく向かえるかどうかわからないですけど。

(市) もしそういった場合、市としましては避難所として中津小学校があります。

(保護者) 小学校ですね。だから、もうそれだったらばそういうふうに通ってといてもらったら、もうここにいない、ここも危ないとなったら、じゃあ次中津小に行こうって。多分、みんなここに向かっていないってわかったら、さあ次ってなったときに中津小学校ですって通ってもらったらもう中津小学校に行くので。そしたら多分混乱はしないと思うので。

(法人) そうですね。公立保育所のと時から第一避難場所が中津小学校になっているので、もう私たちもそのように想定して、大きな災害のときには中津小学校にということ考えています。前にもこういった大雨のときの安威川の氾濫とか、そういった水害のときには中津小も地形的には水位危険区域なので、イオンさんをお願いしてできるだけ上のほうにということ、イオンさんに連れていくということでの了承は得てはいるんですが。

(保護者) そしたら、じゃあ水害のときはイオンというね。地震とかのときは学校とかってものを掲示しといてもらうなり、お手紙をつくってもらうなりしたほうが、今、地震起きたばかりなので、みんなそれなりに意識はあると思うので、書いてもらったらいかなと思います。

(法人) はい。

(保護者) すみません、関連した内容かわからないですが、今回よいこネットに登録したから大丈夫だったんですけど、あれって地震で使えなくなるっていう可能性はどれぐらいあるんですか。ほかの市町村では、学校からのメールが全然来なくて大混乱になったということを知っていますね。

(法人) 基本よいこネットはそういう災害時に活用できるんですよ。ただ、強度について僕らにはちょっとわからないです。

(保護者) サーバーがどこにあるとか、そういったことはどうか。

(法人) よいこネットのサーバーね、大阪、茨木市ではないんですよ。ちょっとそれ確認しておきます。

- (法 人) 今回は本当によいこネットで事前にもお声かけてたので大多数登録してくださってたので、助かったのは本当に事実なんです。
- ( 市 ) 他にいいですか。何でも聞いていただいたらいいですよ。
- (保護者) 小さいことなんですけど。職員や先生で若い先生とかいらっしやあって、お名前がわからない方が結構いらっしやるんですよ。担任の先生以外で。担任の先生はみんなわかるんですけど。できたら名札を着用してほしいというか、そういうのはどうなのかなというふうに思ったりするところはあって、何か私だけですかね。
- (法 人) 夕方の学生のアルバイトとかですかね。
- (保護者) 夕方の先生はまあいいんですけど。
- (法 人) ほかの違うクラスの先生ですか。
- (保護者) 違うクラスの先生とかもわかります。多分、担任の先生以外わからないんですよ。夕方の先生、若い先生はもっとわからないんですけど。
- (法 人) すみません。
- (保護者) 夕方とかだったら、もうその時間帯しかいらっしやらないからっていいんですけど、でもやっぱり多分先生なんだろうな、どう見ても先生だなんていう方はやっぱり名札なり何かしてもらったほうがこちらも。やっぱりせっかくそうやってお世話になるから、やっぱり名前がわかったほうがなってすごく思うところもあって。
- (法 人) どうしても子供と接していて、吊り下げだとどうしても子供にはってというのがあって。
- (保護者) 危ないですよ。どういう感じがいいのかわからないんですけど。
- (法 人) そうですね、職員とまた考えさせてもらいます。
- (保護者) 入り口には写真が貼ってありますよね。
- (法 人) そうなんです。顔の写真の紹介はしてるんですけども。なかなか顔を見にいつてっていうのはできないですよ。
- (保護者) そうなのはちょっとね。
- (法 人) お話しくださるときにすぐに誰先生ってなりますもんね。
- (保護者) そうそう。例えば何かあったときに、誰々先生に話してと言っても、え、誰、その先生誰みたいな感じになるじゃないですか。
- (保護者) 名札をぶら下げるのちょっとやっぱり危ないんじゃないかなと思うところあるんですけど。
- (法 人) そうなんです。はい、わかりました。ちょっと考えます。
- (保護者) すみません。ちょっと地震の話に戻ってしまうんですけど、私ち

ようど地震の日に外に避難してたんですけど、電柱が倒れてきたらどうしようとか、上にある電線とか結構気になってるんです。次もし地震があつて中津小学校に避難するとなると、その経路の安全性とかもちょっと気になってるんですけど、ここの近隣で今の時点で確認されてる危険箇所とかってありますか。

( 市 ) そうですね。実はこういう経路とかは、割と小学校のほうが通学路というところで点検をしているはずなんですけれども、そういうところも踏まえて今安全であるということで登下校されてます。さらに、それでも民間さんの塀とかそういう危険箇所があるんであれば、順次そういうことも公表されてそれを撤去したりとか、こういうところがちょっと危ないですよということで迂回したりとかいうようなシステムで、今府下、高校等も含めて教育委員会のほうからそういう指示が出てます。実は小中学校はあの事件があつて、小中学校のほうは対応しました。プールの塀を今取り除いてます。また、昨日学校がお休みになったのも、小中学校の方々自分らで登下校されるので、そういったときに水路にはまったら危ないよねとかいうようなことで、やはり休校にしようとなりました。公立のほうは、皆さん、お母さま、保護者の方が安全確認しながら連れてきていただいているというところで開けたというようなこともありまして。ただ、今おっしゃったようにどこが危ないのとか、そういったことがまだ実はまだまだ点在しているのかなというのは思っています。しかしながら、そういったところも今回の事故を含めまして、きちんと点検をして公表していくというふうな流れになっているんですけど、ちょっと今その辺の取りまとめをしまして。まず小中学校ですね。高校にも広がって、校区の学校先生方がきちんと点検されているという状態ですので、まだちょっと公表できるかわからないんですけど、そういった取り組みはされているということだけ、ちょっとご理解いただきたいと思います。

(保護者) そしたら、今のお話だと、今すぐに危ないみたいな箇所はこの周辺ではなさそうですね。

( 市 ) そうですね。

(保護者) あつたらすぐに撤去するような状況だと思いますので。

( 市 ) ただ、民間さんのところはまだわかりませんね。

(保護者) それは仕方ないですね。

( 市 ) それ以外では、一定そういうところは確保されていると聞いております。



(保護者) わかりました。ありがとうございます。

(保護者) 今のお話の続きで。民間の、例えばマンションとかで、ひび入ってるところとかあるんですよ。来る途中に。そこは民間なので、結局そこまでは市が介入するか、その辺がよくわからなくて、実際、学校はそこ通学路でもありますけど、自分たち親が歩いて気になって、ちょっと怖い、子供がそこを怖がっているというのであれば、もう、ルートを変えてもらってもいいです、だけど届け出をしてくださいというふうに学校からは一応言われていて。だからうちは、たまたまその熱帯魚屋さんの近くのあのマンション、下に床屋さんが入ってるところが危ないなと思いながら、あの前はみんな通らないでちょっと迂回しているというか、ちょっと離れたところ歩いたりとかするんですよ。学校の通学路でもあって、子供たちはそういうふうに歩いている子が何人かいても、市がそこまで介入、介入できないのかどうか。そのマンションは、民間の持ち物だから、別に危険っていう何かは貼られてないんですよ。貼られてないのは何でなんだろうという声もあがってて、本当だったら赤だったり黄色なり緑、何かそういうのが貼られててもいいのに、でも貼られてないから。でもすごく怖いから、どうしたらいいんだろうねっていうふうに。だから中津小学校まで行く道で、イオンの駐車場の間のところで細いところありますよね。途中で電柱があって。そことかもすごく細いんですけど、あれ倒れてきたら多分通れないだろうしって思ったりもするので、そこもやっぱり学校でそういう話が上がってて、今すぐについていうわけじゃないけど、でもやっぱりお互い民間、民家だから、結局どうすることもできなくて。危険だと思ったらもうルートを変えてくださいとしか今は言いようがないっていう感じなんですよ。それを申請してくださいみたいな。そうすると、結局何か起こってからじゃ遅いのかなとは思いつつ、でも今すぐに何かできるわけでもないみたいな。だから、そうになると、今は何も起こってないですけど、今さっき心配の声もあったようなそのような中津小学校が避難所ですよって言っても、大丈夫なんかな、中津小学校までの道のりとかね、とか思ったりもするので。そういうのもやっぱりこれを機に考えてもらったほうがいいんじゃないかなというふうに思うんですけど。ちょっと管轄が違うかもしれないですけど。

(市) いえ。でもご心配のところやと思います。実は私どものほうで赤とか黄色とか、あれ張ってるのは、その建物が目視で、例えば曲が

ってますよとかいうことで判定士が、この家とかに住んでたら危ないよということで張ってます。今おっしゃってるのは、例えばひびが入ってたりとか崩落とかそういうな危険性があるよというところまでのシールではないんですよ。あと、民間さんのところまで行政がどこまで介入できるのかと言うと、実は民地のところの建物等に関しては私ら手出しができないんですよ。なので、今大阪市がやっておりますような、そういうところを補修するとか、この被害でそういう危険箇所を補修するのであれば補助を出しますよとかいう施策が今進められているところです。

(保護者)　じゃあ、民間のマンションでそういうふうに、何か怖いんですけどここっていうところがあっても、市は何もできないということ。

(市)　そうなんです。そこがもう倒れてるとかいう状態になると、既存不適格というか、危険な建物ということで除去ということになるんですけども、まだきちんと建っていて、危険性があつたとしても市のほうで勝手にさわったりとか行政指導というのはできない状態なんですよ。

(保護者)　じゃあ、危ないなというふうに思っても何もできないということですか。そうすると、例えば地域の人が見て危ないなというふうに思いながら歩いているけど、市としてはそこはできないということですか。

(市)　そうですね。

(保護者)　忠告とかいうのもできないのですか。

(市)　そうですね。その強度によって、例えばそういうものがありますよということで市のほうに問い合わせただいて、そのオーナーさんにそういう声がありますよということはお伝えするということができるかと思うんですけど、市が直接に手出しをするというのはちょっとできないので。

他にはよろしいですか。お伺いします。

特にもうないということですので、これで本日の案件は全て終了いたしました。

これで三者協議会を閉会させていただきます。

本日は、長時間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。